

印鑑・デザイン物語 第3回

第3回目は現在の印鑑社会の原型が確立された江戸時代についてです。

日本における印鑑の使用は、江戸時代に定着して一般民衆の生活まで深く根を下ろしました。

江戸時代初期の印鑑は、角形印が最も多く、次いで楕円印のものでした。円形の印鑑は比較的少なかった様です。また朱肉は武士などが使用するものだったため、一般民衆は黒印を使用していました。



※徳川歴代将軍の印影

江戸時代初期は徳川幕府が産業の発展と民衆の安定に力を注いだ結果、町人商業階級が経済活動を自ら活性化させたために、商取引、貸し証文、個人の保証に至るまであらゆる証書書類に印鑑が用いられました。

町民、農民は印鑑使用の義務が生まれ、農民は村の長、また町役人に届けて管理する印鑑帳が作製されました。届けた印鑑は実印と呼ばれ、重要な文章に使用され、日常的には一般に裏印が使われていたことが記されています。

実際の彫刻文字は、「福」、「宝」、「栄」など家の繁栄や富、幸福に関する文字を使用しており、家運を左右するという、現代の「印相」観念に関連する様な印鑑を作っていたという記録も残っています。



江戸時代が終わる頃になって「判子屋」、「印判師」と呼ばれる人たちが現れ、はんこの形状、実名を彫刻する現代の印章に近い「印鑑」が出来てきたとみられます。

起業カフェ 「税理士事務所さんの為の勉強会 vol.55 銀行活用術 -銀行活用術-」開催しました!

7月22日開催の勉強会は税理士の先生にもお越しいただき、非常に内容の濃い勉強会となりました。前日までに参加者の方から質問をメールにていただき、当日は講師の先生がお答えいただく形をメインにセミナーを行いました。

- *借入れの際、銀行の担当者によって、融資がおりたり、おりなかったりする気がするのですが、いかがでしょうか?
- *新規開業支援に関して、特に融資支援における銀行交渉でわれわれ税理士事務所が 気をつけるポイント、またこのようにアドバイスすれば他の事務所と差別化できる・顧客満足度を得られるというアドバイス方法・ポイントを教えてください。

「当日の質問から一部抜粋」



参加者の方々からの感想として、「本音が聞けて良かったのと同業者が同じ質問を持っていて安心しました。」「少人数だったので深いところまでお話を伺うことができよかったです。」など大満足の評価をいただきました。

我が社の起業と苦労話し

掲載取材先募集中!

起業して20年以上経営されている
経営者を対象にインタビュー
させて頂き、弊社HPで紹介します。

-第10回目まで好評連載中!HPをチェック!-

インプレス福岡株式会社 デザインはんこ

福岡市中央区赤坂1丁目11-13大稲ビル4階 〒810-0042

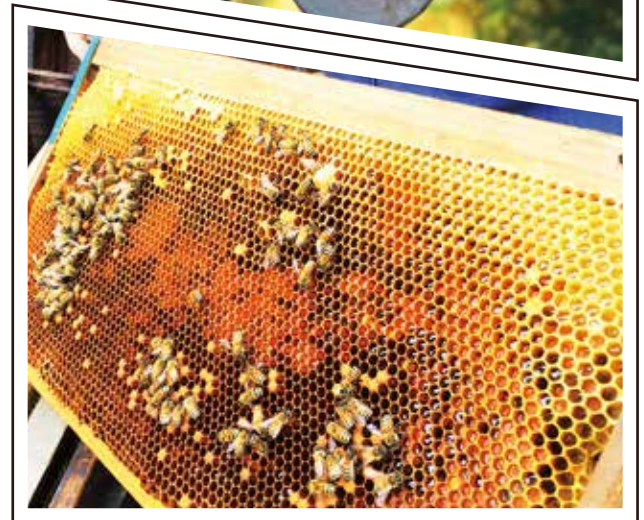
✉ info@design-hanko.com

月～金/9:00～18:00 土/10:00～18:00 定休日/日曜・祝日

TEL:092-752-0888 FAX:092-752-0822

起業・独立をお考えの方はご相談ください。

起業をデザインする 2015.8/9月号 IMPRESS 毎月発行情報レター



起業家
必見!!
新商品!

起業家応援完全パック

「社長の仕事」とは、会社を永續させること、そして企業価値を高めることです。一時的な成功ではなく、成功し続けることです。成功し続けることは思った以上に難しいのです。「社長の仕事」は、経営を通して社会の役に立ち、関わる人や社会により良い影響を与えられる素晴らしい仕事です。

「起業家を成功させたい」という弊社の企業理念に基づいて、起業家のスタートダッシュを全面的にバックアップさせていただきます。

起業家応援完全パックの内容

〈製作ツール一覧〉

- ①企業理念
- ②ロゴマーク
- ③ロゴ実印
- ④名刺・封筒
- ⑤ホームページ
- ⑥その他
(社章・看板等)



〈完全パック特典〉

- ①起業カフェへのご招待
- ②税理士等の士業・専門家の紹介

実際のお客様の声

ビー・ケア株式会社 二本橋 正幸様

起業して3年目を迎えられたビー・ケア株式会社の代表の二本橋正幸様は、1ヶ月間におよそ200件の飛込営業、年間にして2,200件を超える訪問営業を展開されています。



会社を始める前に会社としての税金、経理のことなどを知っていたら良かったと思いました。また、いろんな経営者の方の話を知ることができたですね。会社を始めたきっかけや、苦労話、どうやって苦難を乗り越えたかとか。皆さん、山あり谷ありだったのではないかなと思います。

いざ会社を始めましたら営業と経営は全く違うと思いました。永年、営業の仕事をしていたので経営は、営業マンの延長と同じようなものだと思っていましたが、経営はまったく別物で奥深いと感じています。経営は全般的な事を考えてやっていかないとイケないですね。

製作させていただいた色々なツールについて感想を伺いました。

※ロゴマーク
会社組織で経営していくわけですから必ず必要ですし、絶対に作るべきだと思います。

※社章
付けているのといないのでは全然ちがいます。ビー・ケアさんのロゴマーク格好いいねと言われます。また、社員は何人ですかと聞かれ大きな会社だと思われ。相手に与える印象が全然違うから社章はつけておくべきですね。

※名刺
二つ折り名刺は広告も兼ねていいと思います。お客様とのコミュニケーションの一つになり、お客様のところでの滞在時間が長くなり自然と会話が弾みます。

※オリジナル契約書ファイル
会社オリジナルのものがあつた方がいいですね。お客様へ与える印象が全然違います。

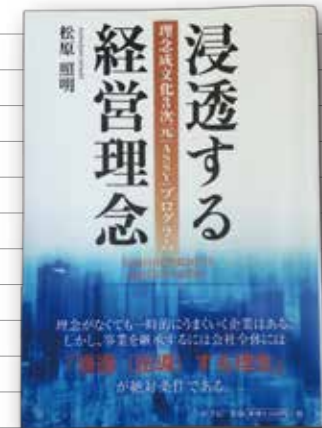
※ホームページ
「ちゃんと作っているね」とお褒めの言葉をいただきます。やはり、素人の自分が作るのとは違いがあります。

9

浸透する経営理念

松原照明著 梓書院

Recommend



書き出し部分に経営理念を掲げている企業は多いが、作成された理念を社内に浸透されている企業は以外に少ないと記されており、これを今お読みの方の中にも否定できない方も多くおられるかと思う。

なんとなく作った経営理念や深く考え込まれていない指針では、この時代を乗り越えることは困難であり、企業活動の根源を支える経営理念を確立させ、さらに社員一人ひとりに浸透させていかなければならない。

経営理念を浸透させる方法論が具体的に記された書物は意外にも少なく、かなり練りこめられた経営理念も社内に浸透させなければ、本来の目的も半減してしまう。

経営理念の作成とは自社の経営全体を見つめ直す経営の集大成であり、その理念にトップの息を吹き込み社員に浸透させることが必須である。